

かへ云へばとて、我々の主張をよく玩味せず、労働組合は改良主義、政党は革命主義と短的に機械的に解釈すべきではない。その云ふ黨の意味は、労働組合は労働者の生活を豊富にする日常斗争(改良的)を第一の目的とし、その發展を通じて根本的解放(總聯合は資本主義粉砕を無産者解放の必須条件と考へてゐる)に進むべきであると言つてゐるのである。

而して今日の如く切迫せる政治的並びに經濟的状態の下に於ける政党は、全面的な觀察の下に根本的改革の爲の決定的な斗争を第一義に置くべきであるといふのである。素より日常斗争を無視してはならぬ、しかし党は借家人争議やストライキに飛び起つて(それも不充分に)眞に資本主義粉砕の革命的な方略と決心とその遂行を行ふとして、この左翼的言辭を以てゐると云ふ事は、重要な政治的モメントに差面しても何等の言辭を以てゐるのではない。従つて党はソリ経済主義から言つても、労働組合即ちこの根本的ではない、國民的總聯合に於ける資本主義粉砕の革命的党であり、党はならないのである。

それ故に党と組合はその職分を明確に區別すべきであつて、しかも各々その職分を正しく守ることによつて勢力に競ひ得られ、且つ有機的な關係をへ生ずるのである。

かゝる党は充分な準備の上には党を成すべからぬ、新日本國民同盟をかくる党の組織の準備団体として我々は協力してゐるのである。

總聯合本年度全國大會は、組合の全機能を動員して經濟斗争に邁進すべく決定した。それ故に、坂本孝三郎、高山久藏、依野好男の三氏は新日本國民同盟の中央常任執行委員を辞任した。しかし彼等の期待する党の絶対的に必要であることを確信するが故に、森栄一氏を總聯合の代表として同盟に派し、その眞使命遂行のため努力してゐるのである。

はば労働組合當面の政治的要求は、組合の政治部を充實し、自ら積極的に努力し、或は労働組合會議その他左翼団体と協力してその実現を期し、一歩々々、具体的に迫り行くべきである。

その場合党は只管に根本的な全面的な政治問題を扱ひ、時機と方法を得れば決定的